厚木市立小鮎中学校



外観

「学び続ける力としなやかでたくまし い心と体の育成」を教育目標に掲げ る厚木市小鮎中学校は、1947(昭和 22)年に設立。普通教室棟のトイレ改 修工事は10年前に完了し、今回特別 教室棟の南棟トイレ改修が行われた。



2·3F男子トイレ 洗面コーナー

1F女子トイレ

車いす使用者配慮ブース



男子トイレの壁のアクセントカラーは、 水色。水栓金具には、押しボタンを1回 押すと吐水し、自動で水が止まる自閉 式立水栓を設置している。

男子、女子トイレ各1ヶ所にバリアフ

リー化を推進するために車いす使用

者配慮ブースを設置。明るく広々した

空間にパブリックコンパクト便器・フラッ

シュタンク式、ウォシュレット、手すりを

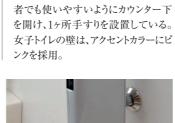
採用している。



1F男子トイレ



2·3F女子トイレ に改修。洗面コーナーは車いす使用 洗面コーナー





2·3F男子トイレ 小便器コーナー

小便器は床の清掃性に優れた壁掛 小便器を採用。自動で洗浄するオート クリーンCのセンサーは、乾電池式の ためラベル印字により交換の目安を表 示している。また、1ヶ所に手すりを設 置。



車いす使用者配慮ブース



スの扉は引き戸を採用。未使用時に は、大開口の窓から自然光が差し込 む。また、ブースにはウォシュレットと手 すりを設置している。



2·3F女子トイレ 大便器ブース・ 車いす使用者配慮ブース



自然光が射し込む明るく広々とした印 象。洋式大便器を採用。節水タイプで 省スペース対応のパブリックコンパクト 便器・フラッシュタンク式を設置した。 大便器カラーはピンクを採用してい



2·3F男子トイレ 車いす使用者配慮ブース ·SKブース



男子トイレの大便器ブースは車いす 使用者にも配慮できるよう、段差をな くし空間を広げ手すりを設置。便器カ ラーはホワイトを採用。清掃用具やトイ レットペーパーなどのストックを収納す るスペースに清掃流しを新設。



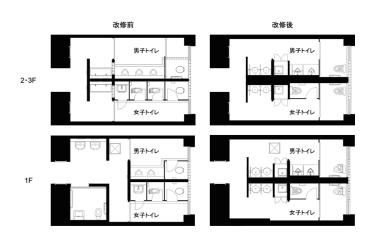


改修前



改修前は、床に段差があったり、和式 便器が1ヶ所設置あり、小便器も床置 型、壁や床がタイル貼りで湿式清掃を 行っていた。さらに、衛生配慮や暗さな ど課題も抱えていた。

トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

「学び続ける力としなやかでたくましい心と体の育成」を学校教育目標に掲げる厚 木市小鮎中学校は、1947(昭和22)年に設立。普通教室棟のトイレ改修工事は10 年前に完了し、今回は特別教室棟の南棟において、トイレの改修が実施された。 以前のトイレ環境は、入口の床に段差があり、大便器は和式便器と洋式便器が 1ヶ所設置、小便器は床置型、壁や床がタイル張りで湿式清掃を行っていたなど、 トイレへの悪いイメージ、いわゆる3K(暗い・汚い・くさい)が問題となっていた。この たび、これら課題を解消し、環境改善を目的として、明るく清潔な空間、だれでも使 いやすいトイレへと改修工事が行われた。

トイレの特長

今回改修対象のトイレの大便器は、洋式便器を採用。小便器は、衛生面に配慮し 床の清掃性に優れた壁掛小便器を設置。水栓は、水の止め忘れに配慮し、自動 で水が止まる自閉式立水栓を採用している。また神奈川県の条例に準拠し、車い す使用者に配慮したブースを男子・女子トイレ内に各1ヶ所設置。さらに1Fの車い す使用者配慮ブースには、ウォシュレットを採用した。各トイレや洗面コーナーに手 すりを1ヶ所ずつ設置し、洗面カウンターは車いす使用者も使いやすいように、足元 に空間のあるタイプを採用している。ガラスブロックを活用するなど、明るくなった改 修後のトイレは、入口に段差がなく、清掃しやすい、だれもが使いやすいトイレに生 まれ変わった。

建築概要 名称 厚木市立小鮎中学校 神奈川県厚木市飯山2367 所在地 厚木市教育委員会 教育総務部 教育施設課 設計 南雲建築設計事務所 建築 愛甲建設株式会社 設備 株式会社第三設備、有限会社永野電工 竣工年月 (改修)2020年9月 敷地面積 20,071.11m² 建築面積 401.46m² 1,058.97m² 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上3階 おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B/普通便座:TC291J ウォシュレットSB:TCF6623/壁掛小便器:UFH500 オートクリーンC:TEA62ADS/立水栓:TL19AR 化粧鏡:YM4560F